

《1/21(日) 12:15~15:15 天皇盃 第29回 全国男子駅伝》

ダイソースポーツスペシャル 天皇盃 第29回全国男子駅伝実況中継

## 4年ぶり声援! ふるさとランナー力走光る!

1月21日(日) 29回目となる「天皇盃 全国男子駅伝」が開催され、平和記念公園前を発着点に「安芸の宮島・厳島神社」と「原爆ドーム」の2つの世界遺産を結ぶ、7区間48.0キロのコースを、全国47都道府県の代表選手が駆け抜けました。コロナ禍を経て、4年ぶりに声出し応援が解禁となった本大会は、長野が2時間17分0秒の大会新記録で3大会連続、10度目の優勝を飾り、2位・埼玉、3位・千葉、4位・京都、5位・兵庫、6位・岡山、7位・福岡、8位・東京と続きました。広島は14位で、2年連続の入賞を逃しました。能登半島地震の被災地・石川は47位でしたが、選手たちが懸命にタスキを繋ぎ、沿道から絶え間なく声援が送られました。

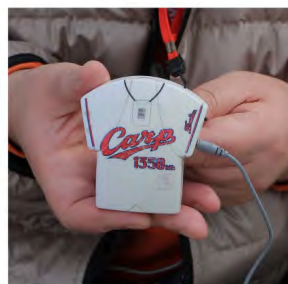
RCCラジオでは、今年も全国38のAMラジオ局を結んで3時間の実況生放送。レース展開や各チームの特徴、注目選手の動向などを、RCCが誇るスポーツアナウンサーたちが臨場感溢れるレポートでわかりやすくお伝えしたほか、RCCラジオお馴染みの番組も年に1度のこの放送を様々な形で盛り上げました。安芸路を力走したランナーが、これから世界でどんな活躍を見せてくれるのか、期待も膨らむ3時間でした。



■47都道府県の代表選手たちが広島の大地を駆け抜けました。



■4年ぶりの大声援の中、長野が優勝を勝ち取りました!

■解説は青山学院大学陸上競技部の原晋監督(右)  
実況は今回初 石橋真アナウンサー(左)■RCCラジオ実況を聴きながら  
ランナーを応援する人たち

■沿道で声援を送る人々



■能登半島地震の募金呼びかけ



■スタジオと現場が連携し熱戦を生中継